

各 位

2020年5月19日
 東京都港区赤坂8丁目10番22号
 株式会社ワイズテーブルコーポレーション
 代表取締役会長兼社長 金山 精三郎
 (コード番号: 2798 東証第二部)
 問合わせ先責任者 管理部門担当上席執行役員
 池本 いつか
 (TEL 03-5412-0065)

特別損失等の計上及び2020年2月期通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は2020年2月期(2019年3月1日~2020年2月29日)におきまして、下記の通り特別損失等を計上することとなりましたのでお知らせいたします。

また、2019年4月19日に公表いたしました2020年2月期通期連結業績予想と本日公表の実績値において、下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上(連結・個別)

当社運営の2店舗等につきまして、減損の兆候が認められたため、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失50百万円を計上いたします。

2. 法人税等調整額の計上(連結・個別)

最近の業績動向等を踏まえ、繰延税金資産の回収の可能性について検討した結果、繰延税金資産の一部を取崩すこととし、法人税等調整額44百万円を計上いたします。

3. 持分法による投資損失の計上(連結・個別)

持分法適用会社である、「CÉ LA VI Tokyo」を運営する株式会社ICONIC LOCATIONS JAPANに対して、持分法による投資損益40百万円を計上いたします。

4. 2020年2月期連結業績予想との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,730	164	289	182	68.65
今回発表実績(B)	13,732	131	232	48	18.11
増減額(B-A)	2	△33	△57	△134	-
増減率	0.0%	△20.2%	△19.9%	△73.6%	-
(ご参考)前期実績(2019年2月期)	13,773	△126	16	△666	△250.42

(差異の理由)

2020年2月期の通期連結業績につきましては、XEXグループ・カジュアルレストラングループともに既存店舗の売上は、料理・サービスの品質強化と販売強化の結果、概ね当初の計画通りとなりました。利益面では、計画に基づき管理コスト削減を積極的に推進したものの、人材不足と従業員

の労働時間削減に伴う人材関連コストが予算を上回ったことにより営業利益が計画を下回りました。また、上記「減損損失の計上」「法人税等調整額の計上」及び「持分法による投資損失の計上」により、経常利益並びに親会社株主に帰属する当期純利益が業績予想を下回る結果となりました。

5. 2020年2月期個別前年実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績 (2019年2月期) (A)	百万円 13,774	百万円 △69	百万円 39	百万円 △578	円 銭 △217.54
今回発表実績 (B)	13,718	165	239	64	24.13
増減額 (B-A)	△56	235	200	643	-
増減率	△0.4%	-	514.7%	-	-

(差異の理由)

上記「2020年2月期連結業績予想との差異」と同様です。

以上

本リリースに関するお問い合わせ先： 株式会社ワイズテーブルコーポレーション
 経理・財務・IRグループ TEL 03-5412-0065